



You, Unlimited

2. catching-up pro...
from Korea to Vie...
(maybe to India?)

3. the lat...
Viet...
Ch...

Data: World B...
... Development Indicators (data base), 2024

Faculty of

Economics



龍谷大学
経済学部

2026

Diverse Approaches to Economics

#企業金融 #経済理論 #地域経済
#ゲーム理論 #経済政策 #地方財政
#プログラミング #データ分析 #世界
経済 #貿易・為替 #開発途上国 #国
際問題 #SDGs #データサイエンス

国際的・地域的なアプローチで、 課題発見、課題解決

国際的・地域的な多様性を理解し

課題の発見と解決に努める人間育成が経済学部目標です。

実践的な力を身につけるために、理論を学ぶ一方で、

現地を訪れて学ぶフィールドワークへの取り組みを重視。

テーマの範囲は広く、企業経営から国際経済や貧困、財政、税制など、

多岐にわたり、興味のある分野を学生が深く学べることを特徴としています。

現代経済学科

客観的なデータ分析能力と
計画立案に基づいて、
具体的な問題解決策を
提示できる人材へ

経済理論プログラム
産業経済プログラム
応用政策プログラム
経済データサイエンスプログラム

国際経済学科

コミュニケーション能力を
駆使して
世界の人々と協力しながら
問題解決を図れる人材へ

国際経済プログラム
開発経済プログラム
経済史プログラム

学科の枠を超えて
学修可能

▼ 解決をめざす「社会課題」

国際経済の変容への対応

芦野 ことこさん

国際経済学科 3年生
(宮城県 仙台育英学園高等学校 出身)



大原 盛樹教授

国際経済学科
[専門分野] 中国経済論、
アジア産業発展論



データから紐解く国際経済の共通課題 世界に影響を与えた中国経済の本質とは

データ分析から見える中国の経済問題 共通課題から導くアジアの格差是正 (芦野さん)

国際経済プログラムのなかでも特に中国経済に興味があり、急成長を遂げた中国の経済構造や現代の課題について学んでいます。データを活用して日本やアジア諸国との比較分析を行い、経済成長の減速や都市部と地方の格差拡大といった課題解決に向けた考察を深めています。特に注目したのは、一人っ子政策による少子化や財政赤字の拡大という問題です。これらの課題に対して、都市と農村の教育機会の格差是正や社会保障の充実など、具体的な解決策を検討しています。一国のデータだけでなく、関連するさまざまな情報を収集・分析することで、より高度な考察ができるようになりました。また、中国の抱える問題が日本の教育格差など、アジア共通の課題とも結びついていることに気づき、より広い視野で問題をとらえられるようになったと実感しています。相対的貧困率や低所得者層の問題など、日本社会にも通じる課題への理解も深まりました。

他国の経済を多面的に理解し 世界の変化に向き合う力を高める (大原教授)

国際経済プログラムでは、激しく変容する世界経済への理解を深め、対応方法を探ります。私が担当する中国経済論の授業では、中国という国を多角的に学びます。経済データの分析を基礎とし、政治、社会、歴史的背景を加えた総合的な視点から、中国経済の特質と変化を探求します。国際経済における中国の位置づけは、単純な成長物語ではなく、複雑な相互作用の結果です。経済成長、産業発展、国民の社会的厚生、国家形成や技術革新への対応など、多層的な側面から分析する必要があります。特に重要なのは、外国や国際的な経済枠組みが中国に与えた影響と、逆に中国がグローバル経済に与えてきた変革に対する理解です。「他者理解」のスキルを磨き、一つの国について多面的に学ぶことで、外国理解のおもしろさを実感するはず。他国に関心をもち、その国の論理や価値観の違いを相対的に理解することで、世界に向き合う力を高めていきましょう。





経済学的な分析で途上国への理解を深め 持続可能な発展に貢献する（樋口さん）

開発経済プログラムでは、経済学的な視点から途上国の貧困や開発課題について学びます。従来のGDPやGNIといった経済指標だけでは測りきれない国の豊かさや人々の幸福度を測り、国が抱える経済問題を学びながら途上国への理解を深めていきます。授業では映像や資料、指標を活用して発展途上国の人々の行動を経済学的に分析し、パソコンでのグラフ作成やレポート作成などの実践スキルも身につけていきます。特に印象的だったのは、途上国におけるBOPビジネスの成功事例を学んだことです。日本ポリグルの水質浄化剤の事例では、単なる慈善事業ではなく継続的なビジネスとして社会課題を解決する重要性を実感し、ビジネスを通じて途上国の人々を支援できることに感銘を受けました。身近なもののからひらめくアイデアが、課題解決のヒントになるかもしれません。将来は、途上国の人々の自立的な発展を事業に挑戦したいと考えています。

途上国の経済問題に目を向け グローバルな課題解決力を育む（上山教授）

開発途上国が直面する貧困問題や地域格差など、社会課題について経済学的な視点から分析し、経済発展の道筋を考えます。現代社会において「開発」の概念は、単なる経済発展から人々の幸福という、より広く深い視点へと進化してきました。伝統的に議論してきた経済発展や工業化のプロセスに加え、ジェンダー問題、気候変動、感染症など新しい開発課題に関する理解も必要とされています。特に重視すべきは、途上国が抱えている社会課題を「自分事」としてとらえる視点です。現代の世界経済は多様な形でつながっており、一見遠い世界の出来事に見える途上国の問題も、実は私たち日本人の生活と強く結びついているのです。開発経済学は政策志向の学問であり、研究成果は途上国政府や国際機関の政策にも直結します。グローバル化がすすむこの時代において、世界の課題に立ち向かう洞察力と行動力を備えた人材を育成したいと考えています。

5	United States	0.914	0.755	17.4	-23
15	Korea (Republic of)	0.891	0.735	17.4	-20
17	Japan	0.890	0.779	12.4	-6
73	Sri Lanka	0.714	0.714	12.4	1
75	Ireland	0.749	10.498	33.6	-34
79	Brazil	0.744	0.744	12.4	-16
89	Thailand	0.722	0.722	12.4	-2
109	India	0.683	0.683	12.4	-21
110	Tanzania	0.682	0.682	12.4	-5
127	Nigeria	0.624	0.624	12.4	-22
135	Kenya	0.624	0.624	12.4	0
159	South Africa	0.624	0.624	12.4	8
187	China	0.337	0.228	32.4	3

Projects #2

開発経済プログラム

解決をめざす「社会課題」▼

開発途上国の経済発展



樋口 もえさん
国際経済学科 3年生
(京都府立久御山高等学校 出身)



上山 美香教授
国際経済学科
[専門分野] 開発経済学、
ジェンダーと開発

開発途上国の現状から国際経済の未来を描き
 持続可能な発展へ新たな道筋を示す

Projects #3

経済史プログラム

▼ 解決をめざす「社会課題」

グローバル経済の本質

島田 創志さん

国際経済学科 2年生
(大阪府立高槻北高等学校 出身)



大久保 翔平 講師

国際経済学科
[専門分野] グローバル経済史、
オランダ東インド会社史



グローバル経済の歴史を根本から見直し 現代社会が直面する課題解決につなげる

経済の歴史的解釈を問い直し

現代社会の課題解決策を探る (島田さん)

グローバル経済史の授業は、これまで当たり前だと思っていた歴史観を根本から見直す機会となりました。授業では、従来のヨーロッパ中心の歴史解釈に疑問をもち、アジア圏の経済的功績を再評価する学びを通じて、世界経済の複雑な歴史的メカニズムを理解していきます。東インド会社や世界商品の歴史を分析し与えられた一次情報をもとに自分の頭で考えるなかで、批判的思考力が養われました。自分自身で最も成長を感じるのには、情報の正確な見極め方です。生成AIに頼るのではなく、自ら考え、情報を主体的に活用するスキルが身につきました。一次情報をベースに自分の考えを組み立て、二次情報で補完するアプローチは、知識の習得を超えた真の学びの姿勢だと実感しています。日々の学びのなかで歴史的な視点から現代社会の課題を解き明かす力を磨き続け、将来は、より公平で持続可能な経済システムの構築に貢献したいと考えています。

経済の歴史を読み解き

グローバル化の本質に迫る (大久保講師)

グローバル経済の歴史的な形成過程を題材に、現代社会が直面する諸課題について考察を深めます。世界初の株式会社である「東インド会社」の活動や、銀・砂糖・コーヒーといった世界商品の生産・流通・消費を手がかりとし、グローバル経済の特徴を浮かび上がらせていきます。また、近世から現代に至るグローバル経済の展開を貿易・開発・交通・通信・情報といった観点から紐解き、現代の諸課題との結びつきについて議論します。講義では参加型の学びを重視し、リアルタイムアンケートシステムを活用した問いかけや映像視聴、グループプレゼンテーションやディスカッションを展開します。異なる時代・地域の価値観を学ぶことで、グローバル化がもたらす恩恵と課題を多角的に分析し、持続可能な経済のあり方を模索します。歴史的視点から現代経済を読み解く力を養い、グローバルマインドをもった人材に成長してほしいと期待しています。



社会が直面する複雑な課題

「ゲーム理論」が打開の一手に（橋口さん）

授業では、世の中のさまざまな問題を「ゲーム理論」を用いて理論的に分析します。共犯を犯した二人の囚人が、重い刑期から免れようと自白と黙秘の間でせめぎ合う「囚人のジレンマ」は、ゲーム理論の代表的なモデルです。この理論を現実の社会課題に応用すれば、思わぬ環境問題の糸口を見出せるのではないのでしょうか。例えば地球温暖化は、環境の保全よりも自国の経済発展を優先するために、温室効果ガスを大量排出する国によって引き起こされているとします。これにゲーム理論を当てはめれば、経済発展と環境保護の両立が可能になり、温室効果ガスを排出しない方法で経済発展できる制度・体制の整備が有効な解決策と考えられます。この講義をとおして、ゲーム理論に基づいたアプローチは、現代社会の課題解決に有効な手法だと感じました。物事の見識や本質をとらえる姿勢、合理的な思考力も身についたと思います。

駆け引きから見える世の中の仕組み

ゲーム理論で養う戦略的思考（若山教授）

ゲーム理論とは、世の中にある「駆け引き」を分析するための道具です。最近では、腎臓移植における患者とドナーのマッチングや、難民の再定住先の決定といった、経済とは一見無縁に思える社会問題の解決にも活用されています。私の授業では、四則演算を中心にゲーム理論の基本的な考え方を紹介しているため、数学が苦手な学生でも安心して学べます。また、「なぜ鴨川沿いでカップルが等間隔で座るのか」「なぜ家電量販店は最低価格保証を行うのか」といった日常の素朴な疑問をもとに、ゲーム理論の視点で考えるおもしろさを実感できるよう工夫しています。さらに、内容の理解を深めるために、トランプを使った教室実験など体験的な学びも取り入れています。この講義を通じて、ゲーム理論を分析・考察の道具として使いこなし、さまざまな社会の課題について論理的に考え、自分なりの意見が持てるようになってほしいと考えています。



Projects #4

経済理論プログラム

解決をめざす「社会課題」▼

社会制度に潜む非効率や不公平



橋口 堅さん

国際経済学科 4年生
（宮城県 東北高等学校 出身）



若山 琢磨教授

現代経済学科
【専門分野】メカニズムデザイン

ゲーム理論から探る社会問題の解決法 理論と実践を融合し駆け引きを分析する

▼解決をめざす「社会課題」

老舗企業の持続可能性

近井 優斗さん

現代経済学科 2年生
(大阪府立北千里高等学校 出身)



辻田 素子教授

現代経済学科
[専門分野] 中小企業論、地域産業論



老舗企業と不易流行 経済学の視点から 京都老舗の本質に迫り未来へのアイデアを紡ぐ

フィールドワークで探究する 老舗企業の持続可能性 (近井さん)

地域産業活性化プロジェクトで「老舗企業の持続可能性」という課題と向き合いました。そのなかで創業100年以上の企業を調査して一冊の書籍にまとめ、発表する取り組みを行いました。取材を重ねるなかで気づいたのは、情報を吟味して分析する重要性でした。例えば、後継者不足に着目した場合、単に少子高齢化の問題にとらえるのではなく、時代の変化に適應しながら伝統を守り続ける難しさという視点も必要です。課題の本質に迫るには、現地調査が不可欠でした。フィールドワークを通じた最大きな学びは、理論と実践の融合です。取材先では「今日まで継続できているのは、取引先と従業員のおかげ」と口を揃えて語っていました。このことばの背景には、単なる商取引を超えた老舗ならではのファミリーシップを軸とした経営戦略が見えてきます。伝統をどのように継承し、発展させるべきか。地域文化継承の当事者意識が芽生え、その責任の重さを感じています。

伝統と革新が織りなす京の老舗に 現代のビジネスモデルを考える (辻田教授)

産業経済プログラムの「地域産業活性化プロジェクト」では、京都の老舗企業を対象として「不易流行」の本質に迫ります。老舗は、地域社会との深い関わりをもちながら伝統の継承と革新を両立してきたビジネスモデルです。その経営理念や事業承継の知恵を、徹底したフィールドワークを通じて探究していきます。具体的にはまず、経営者から企業の理念や哲学を学びます。そして、現場での就業体験や社員・取引先へのインタビューを重ねます。さらに地域の祭礼や景観保全活動など、老舗を支える地域社会との関係性にも目を向けて多面的な調査を展開し、これらの成果を一冊の書籍にまとめます。学生たちは一連の過程を通じて、老舗経営の真髄に触れ、フィールドノートの作成や調査の作法を体得し、考察を深めていきます。「伝統と革新」という普遍的なテーマに正面から向き合うことで、現代社会における持続可能な経営のあり方を考える力を養います。



素材と製法のこだわり

- 吉野葛や和三盆など伝統的な製法で作られた質の材料
- 手作業での製造

和菓子の新たな楽しみ方の提供

- 「和菓子×コーヒー」というペアリング

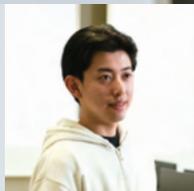
Projects #7 経済データサイエンスプログラム

▼ 解決をめざす「社会課題」

デジタル社会における専門人材の育成

矢島 和樹さん

現代経済学科 2年生
(N高等学校 出身)



松木 隆教授

現代経済学科
[専門分野] 計量経済学



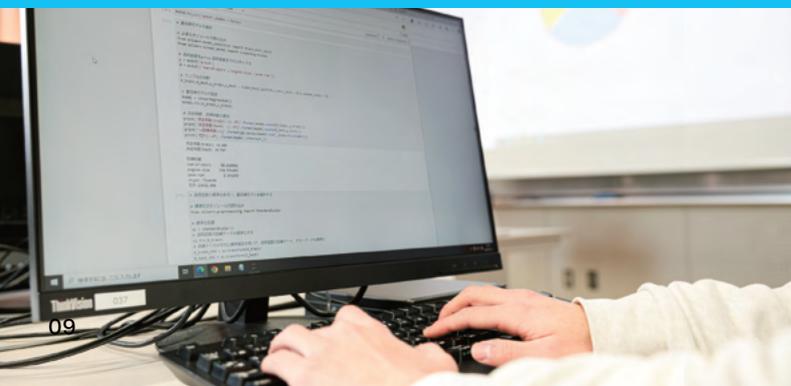
加速化するデジタル社会に対応できるスキルを養い
データサイエンスの力で社会課題を解決に導く

データサイエンスで広がる知見 社会課題解決への実践的アプローチ (矢島さん)

経済データサイエンスプログラムをとおして、日々蓄積される大量のデータを分析し、社会課題の解決に応用する手法を学んでいます。プログラミング言語「Python」を用いて、データの整理から分析、可視化まで実践的なスキルを磨いています。この授業の特徴は、単にデータ処理を行うだけでなく、その結果をどのように解釈し、社会に還元できるかを考えることです。授業で学んだ内容を自宅でも繰り返して取り組むことで、知識や技術の定着がすすみ、日常の小さな疑問から時事問題まで、データに基づいた根拠のある意見を述べられるようになりました。他の授業のレポート作成にもこの技術を活用するようになり、より説得力のある考察ができるようになったと実感しています。今後ますます加速するデジタル社会にも適応できるようデータ分析スキルをさらに磨き、多様な社会課題の解決に貢献していきたいと考えています。

データサイエンスの力を駆使して 多様な社会課題の解決をめざす (松木教授)

デジタル技術の発展により、あらゆる場面でデータの活用が求められています。経済データサイエンスプログラムは、現代に必要なデータを適切に処理し、活用する能力を育成する実践的なプログラムです。「Python」によるプログラミング技術を中心に、データの収集・整理から可視化、統計分析まで、データ処理の基礎を体系的に学びます。Pythonを学ぶことは、データ活用やAI技術の理解にもつながります。また、NumPy、SciPy、Pandas、Matplotlib、Scikit-learnなど、実務でも広く使われているライブラリを活用しながら、実社会に即したスキルも養っていきます。データを効果的に処理し、可視化・分析できるようになれば、社会課題を客観的にとらえ論理的に解決できる力が身につく、AI時代の社会変化にも柔軟に対応できる人材になりうるはずで、学生には、このプログラムで得た能力を活かし、幅広い分野での活躍を期待しています。



Seminars

ゼミ紹介

教員・
スタッフ紹介



現代経済学科 新居 理有ゼミ

▼解決をめざす「社会課題」

経済・財政問題

データ分析と理論を通じて課題を明らかにし
実践的な政策を提言できる力を養う

新居ゼミでは、マクロ経済学や財政政策を基盤に、現代社会が抱える経済的・財政的な課題をデータ分析や理論を通じて明らかにし、実践的な政策を提言します。ゼミ活動の一環として参加した公共選択学会の学生の集いでは「政治とカネの問題を考える」をテーマに論文を発表しました。政治資金収支報告書という膨大なデータから必要な情報を抽出・分析する過程で、統計的な分析力とともに、社会課題を多角的に考察する力が身につきました。獲得したスキルをもとに、卒業論文では「新幹線が与える経済効果」を探究したいと考えています。



松田 理莉緒さん

現代経済学科 3年生
(愛媛県 済美高等学校 出身)



【主な卒業論文テーマ（現代経済学科）】

- 人口減少時代における日本の雇用システムの再構築
- ふるさと納税の現状と地方経済の活性化に向けて
- 日中両国における起業意識の比較分析～GEMデータ～
- 能登地方における地震活動と石川県の不動産価格の関係
- 新NISAが日本経済に与える影響
- インバウンド消費の増加に影響を与える要因分析

国際経済学科 大原 盛樹ゼミ

▼解決をめざす「社会課題」

新興国の経済成長

座学の域を超えて、現地の空気を感じ
開発援助の可能性と経済効果を探る

日本経済の停滞について学ぶなかで新興国の発展に強い関心を持ち、現地調査を通じて、日本のODAが開発途上国にもたらす影響を研究しています。インドとベトナムでのフィールドワークでは、ODAによって建設された施設を視察し、現地企業や学生との交流から経済支援の意義を実感しました。ことばの壁を乗り越えながら、異文化コミュニケーションの力も磨きました。座学では得られない生の声に触れ、経済を多角的に分析する視野が養われました。研究で得た知見を活かし、日本と新興国の経済発展に貢献したいと考えています。



會田 智昭さん

国際経済学科 3年生
(大阪府立長尾高等学校 出身)



【主な卒業論文テーマ（国際経済学科）】

- 観光産業が途上国経済に与える影響と持続可能な観光開発の可能性
- 日本経済の長期停滞の要因と打開策—少子高齢化、社会構造の変化、経済政策の限界—
- 経済援助の二次効果について—インドチェンナイメトロの事例から—
- 「推し活と行動経済学」～非合理的な消費行動の心理と社会的要因～
- ラオスの教育インフラの現状と課題
- 自由貿易協定が与える日本の食料品輸入への影響に関する分析

4-Year Studies

学部サイト



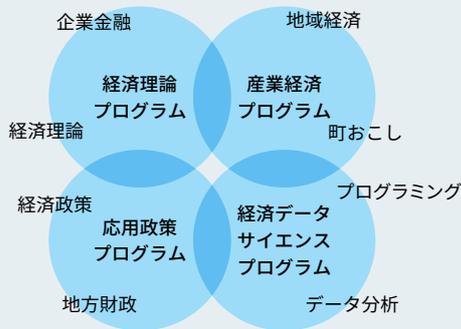
4年間で何を学ぶ？

社会の課題に多角的なアプローチができる問題解決能力・
政策立案能力・情報処理能力を備えたリーダーを育成する

	1年次	2年次	3年次	4年次										
4年間の流れ	幅広い基礎力をしっかり身につける	自分の学びを深める学科を選択する	社会で活かせる専門力をじっくり鍛える	4年間の学びを卒業論文にまとめる										
少人数ゼミ	入門演習 「学びの基礎力」となる「聴く・読む・調べる・書く・伝える」の5つの力を徹底的に身につけます。授業内ピア・サポーターも支援します。	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ	演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ	演習Ⅳ (卒業研究含む)										
多様な学び・多様な実践の場	経済学の基礎Ⅰ 経済学の入門科目をとおして、経済学の基礎や現代経済の諸問題を学びます。		経済学の基礎Ⅱ 経済学の基礎科目をとおして、経済学の基礎の学びを深めていきます。											
	基礎力育成科目 経済学の技法Ⅰ・Ⅱ、経済英語Ⅰ～Ⅲ、経営学総論、政治学原理など		キャリア形成科目 キャリア形成論など											
	教養教育科目 仏教の思想、外国語、教養科目など		基礎を理解したうえで、自分に合う学科を選択(2年次)											
	現代経済学科 最新の経済動向を把握し、客観的なデータ分析と計画・立案・提言の能力を養う科目を配置。自分の学びにあわせて科目を自由に選択できるとともに、4つのプログラム(科目群)に分かれているので、系統的な学修が可能です。 ※国際経済学科の科目も学修可能です。													
	<table border="1"> <tr> <td>経済理論プログラム</td> <td>より高度な現代の経済理論を学びます。</td> </tr> <tr> <td>産業経済プログラム</td> <td>企業・産業・地域経済など、現場に密着したところから経済を考えます。</td> </tr> <tr> <td>応用政策プログラム</td> <td>さまざまな経済・社会問題を学び、それらを改善するための政策を提案します。</td> </tr> <tr> <td>経済データサイエンスプログラム</td> <td>ビッグデータ時代の新しいデータ分析の手法を学びます。</td> </tr> <tr> <td>学部共通コース</td> <td>スポーツサイエンスコース 環境サイエンスコース</td> </tr> </table>				経済理論プログラム	より高度な現代の経済理論を学びます。	産業経済プログラム	企業・産業・地域経済など、現場に密着したところから経済を考えます。	応用政策プログラム	さまざまな経済・社会問題を学び、それらを改善するための政策を提案します。	経済データサイエンスプログラム	ビッグデータ時代の新しいデータ分析の手法を学びます。	学部共通コース	スポーツサイエンスコース 環境サイエンスコース
経済理論プログラム	より高度な現代の経済理論を学びます。													
産業経済プログラム	企業・産業・地域経済など、現場に密着したところから経済を考えます。													
応用政策プログラム	さまざまな経済・社会問題を学び、それらを改善するための政策を提案します。													
経済データサイエンスプログラム	ビッグデータ時代の新しいデータ分析の手法を学びます。													
学部共通コース	スポーツサイエンスコース 環境サイエンスコース													
	国際経済学科 世界経済の動きを敏感に読み取り、豊かな国際感覚とコミュニケーション能力、問題解決能力を養う科目を配置。自分の学びにあわせて科目を自由に選択できるとともに、3つのプログラム(科目群)に分かれているので、系統的な学修が可能です。 ※現代経済学科の科目も学修可能です。													
	<table border="1"> <tr> <td>国際経済プログラム</td> <td>貿易や為替の仕組みとその影響などを学び、世界経済の行方を考えます。</td> </tr> <tr> <td>開発経済プログラム</td> <td>開発という視点から、先進国と開発途上国の経済関係を見つめ直します。</td> </tr> <tr> <td>経済史プログラム</td> <td>長年にわたる日本と世界の経済発展の歴史を体系的に学びます。</td> </tr> <tr> <td>学部共通コース</td> <td>国際関係コース 英語コミュニケーションコース</td> </tr> </table>				国際経済プログラム	貿易や為替の仕組みとその影響などを学び、世界経済の行方を考えます。	開発経済プログラム	開発という視点から、先進国と開発途上国の経済関係を見つめ直します。	経済史プログラム	長年にわたる日本と世界の経済発展の歴史を体系的に学びます。	学部共通コース	国際関係コース 英語コミュニケーションコース		
国際経済プログラム	貿易や為替の仕組みとその影響などを学び、世界経済の行方を考えます。													
開発経済プログラム	開発という視点から、先進国と開発途上国の経済関係を見つめ直します。													
経済史プログラム	長年にわたる日本と世界の経済発展の歴史を体系的に学びます。													
学部共通コース	国際関係コース 英語コミュニケーションコース													

現代経済学科

経済動向の把握と客観的な分析力で
問題解決を提案



経済理論プログラム

学びのキーワード

企業金融 経済理論

経済学の基礎を学んだうえで、より高度な現代の経済理論を勉強します。経済モデルを使って、複雑に入り組んだ経済現象の背後にある、本質（メカニズム）をとらえる方法を学びます。

ゲーム理論、不確実性と情報の経済学、行動経済学、ファイナンス理論、企業金融論 など

産業経済プログラム

学びのキーワード

地域経済 町おこし

企業や産業そして地域経済など、現場に密着したところから、現代の経済のダイナミクスを学びます。具体的な問題を分析したり、実際に現場に出かけたりすることで、実践的な問題解決力を養います。

労働経済学、地域産業論、観光経済論、サービス経済論、中小企業論、地域産業活性化プロジェクト など

応用政策プログラム

学びのキーワード

経済政策 地方財政

財政・社会保障・貧困・環境など、広い視点から、さまざまな経済・社会問題を学び、どのような政策によってこれらの問題を改善できるのかを考えます。あわせて政策の実現のために必要不可欠な財政のあり方についても深く学びます。

環境経済学、総合政策論、公共経済学、都市経済学、医療経済学、地方財政論 など

経済データサイエンスプログラム

学びのキーワード

プログラミング データ分析

スマートフォンの普及やIT技術の発展により、膨大なデータが利用可能となり、我々はビッグデータ時代を迎え、さまざまな活用がなされています。データを収集し分析することで、社会やビジネスの課題を解決していく人材を育成します。

経済統計学、計量経済学、応用計量経済学、データサイエンス入門、データサイエンス、情報システム論 など

[取得可能な免許・資格]

- 中学校教諭一種免許状（社会）
- 学校図書館司書教諭
- 高等学校教諭一種免許状（公民）
- 本願寺派教師資格（受験資格）
- 図書館司書

国際経済学科

世界の人々と協力しながら
迅速に問題解決を図る



国際経済プログラム

学びのキーワード

貿易・為替 世界経済

経済のグローバル化がすすみ、人・モノ・資金が日々国境を自由に行き来し、国内と海外の経済の結びつきはかつてないほど強まっています。貿易や為替の仕組みと影響など、現代の世界経済を理解するために必須となる視点を学びます。

国際貿易政策、比較経済論、国際金融論、国際ビジネス論、中国経済論、ヨーロッパ経済論、アメリカ経済論 など

開発経済プログラム

学びのキーワード

開発途上国 開発

開発途上国の経済を対象に、貧しい国々が経済成長により発展していくメカニズムや、また国民の生活水準が著しく低い国々への支援のあり方などを学びます。開発という視点から、先進国と開発途上国の経済関係を見つめ直します。

開発経済学、地域経済論、国際協力論、食・農・資源の経済論、アジア経済論、海外フィールド実習 など

経済史プログラム

学びのキーワード

国際問題 経済史

経済史は、歴史上現れたさまざまな経済社会がどのように発展してきたかを研究する学問分野です。このプログラムでは地域別・分野別の講義により、長期にわたる日本と世界の経済発展の歴史を体系的に学ぶとともに、経済社会の発展に伴って進歩してきた経済学（経済思想）の歩みについても学べます。

アジア経済史、日本経済史、経済地理学、ヨーロッパ経済史、グローバル経済史、経済思想史 など

[取得可能な免許・資格]

- 中学校教諭一種免許状（社会）
- 学校図書館司書教諭
- 高等学校教諭一種免許状（地理歴史）
- 本願寺派教師資格（受験資格）
- 図書館司書

Hot Topics

経済学部取り組み

参加型の新入生サポート

1 充実した初年次教育

経済学部では入学から卒業までの4年間を通じて、少人数の演習科目を開講しています。すべての学生は、演習が始まる2年生後期までに、「入門演習」「基礎演習Ⅰ」「基礎演習Ⅱ」という科目を通じて、大学での学修の基本となる5つの技法（聴く・読む・調べる・書く・伝える）を集中的に修得します。「学修ガイド」という全員共通の教材、文章課題などを活用し、学びを深めていきます。キャリア教育も演習科目のなかでスタートし、学びのスキルが将来設計と関わることも理解していきます。



2 先輩が1年生にアドバイス 授業内ピア・サポーター制度

1年生の少人数授業である「入門演習」「基礎演習Ⅰ」には、教員と1年生の間に立ち、1年生を支援する上級生「ピア・サポーター」がいます。ピア・サポーターは、1年生にとっては、初めてのことばかりで不安な大学生活を少しでも和らげてくれる心強い味方です。経済学部独自の制度であるピア・サポーター制度のもと、授業は教員、ピア・サポーター、1年生の三者でつくりあげられ、アクティブ・ラーニングが積極的に推進・深化されていきます。



地域産業活性化プロジェクト

3 京都の老舗企業×「龍谷大学」のコラボ授業を実施 100年以上の歴史がある「老舗」の魅力や課題について、徹底的に学び成果を書籍化

経済学部では、受講生が主体的に考え行動する実践型の授業に力を入れています。京都府および「京都老舗の会」の協力を得て実施している科目「地域産業活性化プロジェクト」（京の老舗と不易流行）は、文献研究、講義、フィールドワーク（現場調査）などを通じて、100年以上続く「老舗」の本質を理解するとともに、その課題を発見し、具体的な

対応策を提示することを目的としています。2024年度は、江戸時代から続く創業約300年の菓子司「鍵善良房」とのコラボ授業を実施し、現地訪問や関係者へのインタビューを通じて、鍵善良房の魅力を分析しました。これらの活動成果を整理し、2026年夏頃に書籍として市販する予定です。



四条本店前で社長から説明を受ける



製造現場を見学



第1弾の書籍を出版

海外でも学びを展開

4 1年生からでもグアムで“生きた経済”を学ぶ 海外フィールド研修

グアム大学を拠点に、英語と島の経済・歴史・自然を学ぶことができる、経済学部独自の短期海外研修制度です（全学年対象）。楽しみながら英語を身につけるだけでなく、島の観光業の現場で“生きた経済”を学び、フィールドワークをとおして島の歴史や自然に親しみます。カリキュラムに参加してくれるグアム大学の学生とも、多くの場面で交流を深めることができます。



5 座学と現地実習の両面から途上国を学ぶ 海外フィールド実習

「海外フィールド実習」は、夏休みに行う途上国でのフィールドワークと講義形式の事後学習を組み合わせ、途上国の現状や課題に対する理解を深める授業です。学生は各種スタディーツアーやボランティア研修などから関心にあわせて渡航先を探し、現地で多くのことを学び、感じる体験をします。その後、レポート作成やプレゼンテーション、各学生の世界各地での経験をもとにディスカッションを行い、途上国が抱える課題に対して更なる理解を深めます。



経済学部フェスタ

6 経済学部の「知の循環」を学生とともに創る 経済学部フェスタ

2024年に龍谷大学経済学部の独自イベント「経済学部フェスタ」を開催しました。ゼミ活動やPBL授業などを通じて、「自分たちが何を行い、何を学んだのか」を発表し、経済学部の特徴的な学びの成果を一同に披露しました。教員が審査員となって採点をする「研究発表会」では、各チームが念入りに準備をしたうえで発表を行い、審査員である教員からの質問に対しても、堂々とした受け答えが見られました。



経済学部
フェスタの
様子は
こちら→



学びの成果を発表する先輩学生の姿は、1年生にとっては自分の近い未来の姿を重ねることができ、これからの経済学部での学びに対する期待が高まりました。また、「経済学部フェスタ」の企画・運営には、経済学部生が実行委員として参画し、さまざまなアイデアを出しながら教員とともに創りあげました。今後も、学年や所属ゼミを越えた知的な交流を図る場として開催し、経済学部の「知の循環」をめざします。



株式会社ロッテ

営業本部 中部統括支店
北陸支店 勤務

ゲーム理論を用いた分析をテーマとするゼミに所属し、個人や企業の合理的行動選択について研究していました。印象に残っているのは、マスクの着用問題について議論したディベート大会です。メンバーと協力して着地点を探す作業に苦労しながらも、大きな達成感を得ることができました。現在はロッテで小売店の売上・利益最大化に向けた商品や企画の提案を担当しています。データをもとに課題解決に取り組み、消費者に満足していただける品揃えや売り場づくりに努めています。在学中に養った課題発見力や議論を通じて双方の価値観をすり合わせ着地点を見つけ出すプロセスは、答えのない問いへの挑戦である現在の仕事に活かされていると実感しています。今後は、世界中の人々に楽しさや幸福感を感じていただける企画や商品開発に挑戦していきたいです。

福川 皓基さん

現代経済学科 2022年卒業
(三重県立上野高等学校 出身)

Life after G



お菓子やアイスがもつ楽しさ・幸せを感じてほしい。喜んでいただける商品を生み出し、世界中に笑顔届けたい。その思いが仕事への原動力です。

My Background



大学1年生

新しく出会った学友と授業や課題について話し合いながら学修をすすめました。将来の専門分野を模索する日々は、楽しく充実した時間でした。



大学2年生

追究したいと思える分野が見つかり、担当教員の指導のもとでゼミのメンバーの考えや視点を吸収しながら、学びを深めることができました。



大学3年生

コロナ禍の限られた対面機会を大切にディベート大会の準備をすすめました。困難な環境のなかだからこそ、主体的に行動する力が身につきました。



大学4年生

就職活動や卒業論文の作成に多くの不安を抱えるも、ゼミの仲間と最後までやり遂げることができました。苦楽をともにした一生の友人です。

シライ電子工業株式会社

ソリューション事業部

ソリューション営業部 国内営業課 勤務

電子機器に使用されるプリント配線板の製造装置や検査機の販売部門に所属し、メーカーさまからの運用に関する問い合わせの対応や製品の検証テストに携わっています。在学中の学びで特に印象に残っているのは、海外に進出している企業と現地企業のブランド力を研究したゼミ活動です。ゼミメンバーと中国・インドへ足を運び、海外進出企業へのヒアリング調査を実施しました。調査結果から得られたデータを緻密に分析し、学外の研究発表会では入賞を果たすことができました。この経験を通じて養われた情報収集力とデータ分析力は、現在の仕事でも大きな強みとなっていると感じます。お客さまとの日常会話から潜在的なニーズを読み取り、過去の事例と組み合わせで最適な提案を実践しています。取引先の売上に繋がる最適な提案ができる人材として、今後もさらに研鑽を積み、お客さまから頼られる存在であり続けたいです。

西田 奈津美さん

国際経済学科 2020年卒業
(高知県 土佐女子高等学校 出身)

raduation

My Background



大学1年生

留学生の交流会に参加。文化やことばの壁を乗り越え、今でも連絡を取り合うほど仲の良い友人がたくさんできました。



大学2年生

希望するゼミに入れるよう面接対策や準備に注力しました。希望がかない、お互いを高め合える最高のメンバーと巡り会えました。



大学3年生

ゼミ活動の一環としてインドで調査を実施。企業訪問や現地学生との交流をとおして、文化や歴史への理解も深まりました。



大学4年生

研究や論文作成で挫折しそうになりながら、皆で励まし合って乗り切りました。夜遅くまで一緒に頑張ったメンバーはまさに戦友です。



電子機器に欠かせない回路が描かれたプリント配線板は、製造装置や検査機の要となる重要な部分。検証テストを行う手にも、思わず力が入ります。



経済学部の就職

キャリアサポート体制

初年次からのキャリア教育と就職支援

経済学部では将来の進路選択を充実させるためにも早期からのキャリアサポートを展開しています。1年生の前期に開講する「入門演習」では、講義のなかでキャリアセンターから、大学4年間のキャリア形成についてレクチャーを受け、自身のキャリアプランを立てます。2年生から始まる「演習」でも、就職活動のすすめ方や対策などについて学ぶ機会を設けています。

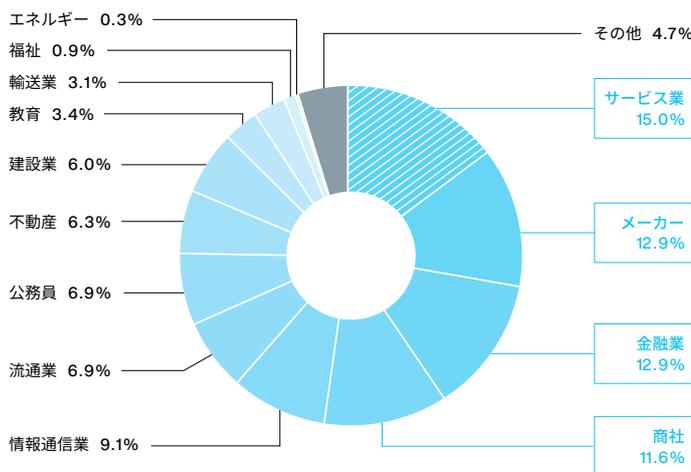
また、各科目のなかでも、ワークショップやフィールドワーク形式で自分自身を見直すことや社会人として行動する視点をもてるように取り組める科目はたくさんあります。経済学部では早期から継続的に、社会人として多様な分野・業界で活躍することができる人材育成に取り組んでいます。

就職状況 (2024年3月卒業生)

サービス業や商社、メーカー、金融業への就職が好調。

企業規模としても大手企業から高いシェアをもつ中堅・中小企業などさまざまで、公務員として行政サービスの向上に携わる人もいます。

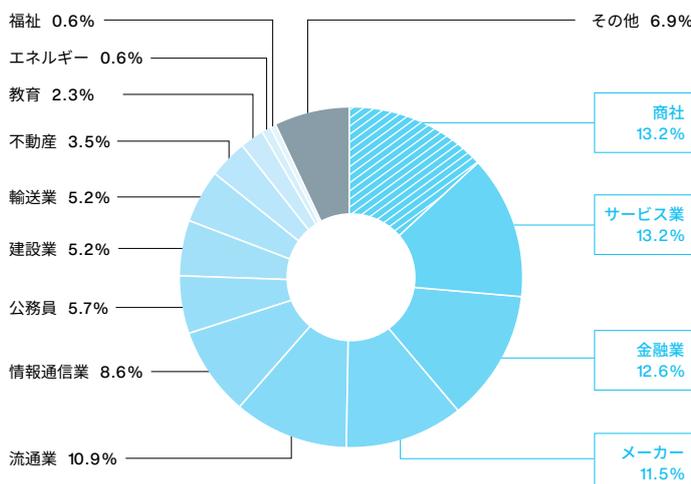
現代経済学科



[主な就職先]

- セキスイハイム山陽株式会社
- シャープ株式会社
- タカラスタンダード株式会社
- TOPPANホールディングス株式会社
- 日野自動車株式会社
- 株式会社LIXIL
- 東海旅客鉄道株式会社 (JR東海)
- 日本食研株式会社
- UHA味覚糖株式会社
- 株式会社京都銀行
- 株式会社日本政策金融公庫
- 株式会社三井住友銀行
- 富士ソフト株式会社
- 農林水産省
- 法務省
- 京都府庁
- 滋賀県庁
- 山口県庁
- 大阪市役所
- 大津市役所 など

国際経済学科



[主な就職先]

- 積水ハウス株式会社
- 大和ハウス工業株式会社
- パナソニック株式会社
- 株式会社ヤクルト本社
- YKK AP 株式会社
- 関西電力株式会社
- 西日本旅客鉄道株式会社 (JR西日本)
- 株式会社大塚商会
- 株式会社セブン・イレブン・ジャパン
- 株式会社ニトリ
- 株式会社ファーストリテイリング
- 株式会社関西みらい銀行
- 株式会社りそな銀行
- 株式会社 Mizkan J plus Holdings
- 国税庁 (国税専門官)
- 財務省
- 香川県庁
- 高知県庁
- 池田市役所
- 草津市役所 など



ローム株式会社 内定

社会課題に向き合う姿勢と挑戦心でさらなる自己成長を

ゼミでは開発途上国の開発がもたらす問題を分析し、グリーンインフラの導入など、一時的な支援に留まらない根本的な解決の手段について学びました。持続可能な社会への道筋を追究した経験、趣味を通じて得た幅広い視野と挑戦心を原動力として社会で活躍し、さらなる自己成長とキャリアアップに努めます。

富澤 春輝さん
国際経済学科 4年生
(滋賀県立甲西高等学校 出身)

株式会社りそな銀行 内定

実践で磨いたスキルが就職活動の大きな武器に

3年次春からの半年間、社会人経営者と交流する機会を設けたり、他大生との共同でイベントの企画にも携わりました。立場の違う方々とのコミュニケーションをとおして、初対面でも物怖じせず発言できるようになったと感じます。実践的な経験によって身についた交渉力と多角的な視点は、就職活動でも大きな強みとなりました。

福田 桃花さん
現代経済学科 4年生
(奈良県立橿原高等学校 出身)



楽天証券株式会社 内定

多角的な視野と専門知識で人々のニーズに応えたい

一つの視点にとらわれず、経済学の専門知識を広く修得しました。学びを深めるなかで興味をもったのは、資産形成が生活に与える影響です。ゼミで投資の研究に取り組み、FPなどの資格取得にも挑みました。既存の枠組みにとらわれない新たな発想で、多くの人のニーズに応えられるサービスを創出したいと思います。

小林 岳翔さん
現代経済学科 4年生
(京都府立山城高等学校 出身)

奈良県公立高等学校 内定

自身の学びと経験を活かし生徒の成長をサポートする

教育学や歴史を重点的に学び、教員に必要な知識と幅広い教養を身につけました。大学生活を送るなかで社会常識の重要性に気づき、社会参画の一步前に立つ高校生の障壁を少しでも軽減できる教育を実践したいと考えようになりました。教育者として生徒一人ひとりに寄り添い、私なりの教育観を構築していきます。

上田 さくらさん
国際経済学科 4年生
(奈良県立畝傍高等学校 出身)



深草キャンパス

京都市伏見区深草塚本町67
Tel 075-645-7894 keizai@ad.ryukoku.ac.jp

大阪、奈良、兵庫から好アクセス

JR「大阪」駅 → 約42分
京阪「京橋」駅 → 約41分
近鉄「奈良」駅 → 約43分
JR「三ノ宮」駅 → 約63分

龍谷大学のブランドストーリー

世界は驚くべきスピードでその姿を変え、
将来の予測が難しい時代となっています。
いま必要なことは、「学び」を深めること。
「つながり」に目覚めること。
龍谷大学は「まごころある市民」を育てていきます。

自らを見つめ直し、他者への思いやりを発動する。
自分だけでなく他の誰かの安らぎのために行動する。
それが、私たちが大切にしている
「自省利他」であり、「まごころ」です。
その心があれば、激しい変化の中でも本質を見極め、
変革への一步を踏み出すことができるはず。

探究心が沸き上がる喜びを原動力に、
より良い社会を構築するために。
新しい価値を創造するために。

私たちは、大学を「心」と「知」と「行動」の拠点として、
地球規模で広がる課題に立ち向かいます。
1639年の創立以来、貫いてきた進取の精神、
そして日々積み上げる学びをもとに、様々な人と手を携えながら、
誠実に地域や社会の発展に力を尽くしていきます。

豊かな多様性の中で、心と心がつながる。人と人が支え合う。
その先に、社会の新しい可能性が生まれていく。
龍谷大学が動く。未来が輝く。

You, Unlimited

龍谷大学 経済学部

あらゆる「壁」や「違い」を乗り越えるために、「まごころ」を持ち、
「人間・社会・自然」について深く考える人を育てる。
それが、龍谷大学の教育のあり方です。

自分自身を省み、人の痛みに感応して、
他者を受け入れ理解する力を持つ。
人類が直面するリアルな課題と真摯に向き合う。
そして様々な学びを通じて本質を見極める目を養い、
自らの可能性を広げていきます。



<https://www.econ.ryukoku.ac.jp>

※掲載の学年、所属は取材時のものです。

2025年4月発行